

大学ニュース

University News



吹田みらいキャンパスと 新学部「ビジネスデータサイエンス学部」

関西大学商学部教授 矢田 勝俊

2023年10月、関西大学は新たなキャンパス「吹田みらいキャンパス」を開設し、現在、このキャンパスに新学部「ビジネスデータサイエンス学部」の設置を構想中です。本稿では、新キャンパスで展開されるビジネスデータサイエンス学部を中心に、関西大学の新たな取り組みの一部を紹介させていただきます。

関西大学は5つめのキャンパスとして、吹田市内に「吹田みらいキャンパス」を開設しました。このキャンパスには新国際学生寮を中心とした国際交流や充実したスポーツ施設を通して、国内外から多様な人々が集い、それぞれの「みらい」を描く場所として設立されました。その中で拠点のコアとして構想されているのが新学部「ビジネスデータサイエンス学部」です。

近年、ビッグデータの時代として、AIや機械学習などを駆使したデータ分析は、経営に不可欠なものとなりつつあります。データサイエンスはそうした諸問題を解決するための技術の総称を指し、計算機科学、統計学、人工知能等、様々な技術領域を包含するものとして大きな関心を集めています。特にビジネスでは環境変化が激しく、データサイエンスへの取り組みは企業の生き残りをかけた条件とさえ言われています。関西大学が構想する「ビジネスデータサイエンス学部」はビジネス分野におけるデータサイエンス

に特化し、より実践的な人材を育成しようとしています。この構想されている新学部について、ここでは2つの特徴に焦点を当てて紹介させていただきます。第一の特徴は、ビジネスにおけるデータサイエンスの実践的なスキルを身に付けるため、ビジネスの基礎知識を学び、産学連携のもと、企業の実データを中心に高度な分析力や構想力を高めるところにあります。第二の特徴は、実際のビジネスの場で必要とされる課題解決力やコミュニケーション能力を高めるため、多様な環境でのチームビルディングを重視している点です。新キャンパスに設置されている国際学生寮は多様な文化やバックグラウンドをもつ学生を惹き付ける重要な拠点になると考えられています。

このように新学部はビジネスとデータサイエンスの融合により、未来のビジネスに貢献する人材を輩出し、豊かな社会を築く一助になることを目指し、設立されました。今後、先生方のご支援をいただきつつ、皆様の期待に応えていきたいと考えています。是非、新学部に関心と期待を持っていただき、ご支援を賜れば幸いです。

※関西大学博修士会総会・学術講演会(新キャンパス見学)が2024.9.22(日)に関西大学吹田みらいキャンパス、サウスウィング2階中研修室で開催予定。新キャンパスを見学できる良い機会ですので、是非とも参加いただき、矢田教授のご講演をお聞き下さい。